

1. 科目名 (単位数)	国際保健学入門 (2 単位)	3. 科目番号	EIJP3161				
2. 授業担当教員	山本 静雄						
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	春期 (伊勢崎・池袋)				
6. 履修条件・他科目との関係	この授業の基礎科目は、教育学専攻で開設されている「衛生学、免疫学概論、病原微生物学等」などであるが、それらの科目の履修を条件とはしない。「国際保健学入門」は国際教育専攻の関連科目である。						
7. 講義概要	「国際保健は、人々の健康問題を地球規模でとらえ、広い視野で健康を阻害する諸要因を分析し、国際的な協力のもとに健康問題の解決策を研究する学術や活動である」とされている。これから判断しても、「国際保健」が対象とする分野は実に多彩で、様々な学際的領域が包含されていることが分かる。この講義では、世界の人々約 73 億人の主な健康問題の現状を把握した上で健康を阻害する諸要因と健康問題の解決策を考察する。この対象は主に開発途上国における深刻な健康問題の把握と考察が中心とならざるを得ない。対象項目としては、平均余命 (寿命)、食物と栄養、水、住環境と衛生設備、貧困問題、健康の不平等、教育、子どもや女性の健康問題、感染症、WHO のワクチン接種による感染症の根絶計画、非感染性疾患、タバコ・飲酒・麻薬、人口問題、地球環境問題、地球環境汚染、持続可能な開発目標 SDGs (sustainable development goals) の目標 3、国際協力・経済支援の必要性など多岐にわたる。						
8. 学習目標	<p>現在、世界の人々が直面している深刻な健康問題の実状を把握し、その原因を理解することを学習目標とする。さらに、先進国や個人にできる国際支援について考えることができれば望ましい。主な学習目標は、以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界保健機関 (WHO) 憲章の前文に記載されている「健康とは」の定義について理解できる。 2. 国別の平均余命の違いとその理由が理解でき、その原因を説明できるようになる。 3. 貧困に起因する (1) 短命、(2) 食物と栄養、(3) 未就学、(4) 不衛生な水の摂取、(5) 感染症などの諸問題を解説できるようになる。 4. 女性や子どもの健康問題 (HIV/エイズ、マラリア、消化器系感染症、結核等の感染症および小児保健、妊産婦保健) について理解し、重要な点を論ずることができるようになる。 5. 非感染性疾患、飲酒とドラッグ (麻薬)、暴力と虐待などの実態について説明できるようになる。 6. 地球環境問題 (地球温暖化やオゾン層破壊の防止など)、地球環境汚染 (ダイオキシン、DDT、PCB、重金属など) について説明できるようになる。 7. 2015 年に国連で示された 17 の SDGs の目標 3「健康な生活の確保と福祉の推進」に記載されている 13 項目のうち主な事項 (上記項目を除く) について説明ができることが望ましい。 						
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>以下の課題の実施については講義の進行具合を考慮し、適宜指示する。字数は 2 0 0 字以内とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 増加を続ける世界に人口、開発途上国と先進国の平均余命 (寿命) を比較しなさい。 2. 開発途上国における子どもの感染症による死亡の実状を簡潔にまとめなさい。 3. 開発途上国における妊産婦死亡率、妊婦健診の現状について簡潔にまとめなさい。 4. 開発途上国において HIV 感染者とエイズ患者が多い理由について簡潔にまとめなさい。 5. 世界の結核の実状について簡潔にまとめなさい。 6. マラリアの感染様式、感染予防、マラリア患者の発生状況について簡潔にまとめなさい。 7. 開発途上国における主な非感染性疾患を 3 つ列記し、それらの実状を簡潔にまとめなさい。 8. 治療が可能な性感染症、ワクチンによる予防が可能な性感染症、完治が望めない性感染症について各 1 例を挙げて簡潔に説明しなさい。 9. 国内外の主要な国際協力や国際支援に関わる機関、組織を列記し、それらの活動内容を簡潔にまとめなさい。 <p>(レポートの作成には A4 サイズの用紙を用いること。これらを討議にも用いる。)</p>						
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 使用しない。適宜、講義に使用する資料をメールで送信する。 【参考書】 辻 一郎、小山 洋 編集『シンプル 衛生公衆衛生学 2024』南江堂, 2024。</p>						
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開発途上国には生命に関わる深刻な健康問題を抱えて苦しみ、生命を絶たれている人々が多数ある現実を認識できているか。 2. 上記 1. の原因と解決策を考えることができるか。 3. 自分にできる支援を考えることができるか。 4. 健康にも不公平があることを理解できるか。 <p>○評定の方法</p> <table> <tr> <td>1. 日常の授業態度 (積極的参加、発言)</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>2. 課題レポート・発表</td> <td>60%</td> </tr> </table>			1. 日常の授業態度 (積極的参加、発言)	40%	2. 課題レポート・発表	60%
1. 日常の授業態度 (積極的参加、発言)	40%						
2. 課題レポート・発表	60%						
12. 受講生へのメッセージ	<p>この科目では、恐らく私たちが経験したことのない苛酷な生活を強いられている人びとが同じ地球上に生存していること、その人たちの多くが貧困や心身の疾患等々に悩んでいる現実を把握してほしい。その上で、これらの問題に対して自分に何ができるか、また教育者になった時にこれらの問題をどのように子ども達に教えるかを考えてほしい。</p> <p>この科目の履修に当たっては、他の科目と同様に、主体的に取り組み、課題を提起し、その解決策を考えることに努めて下さい。</p> <p>成績評価は実施する授業形態に応じて以下の通りに行います。</p> <p>A) 対面授業を実施した場合の成績評価は、上記 11. の評定の方法に従って行います。 B) オンライン授業を実施した場合の成績評価は、授業態度 (出席、カメラ・オンの履行、事前・事後学習、音読、質疑応答など) を 40%、課題レポートと小テストを 60% で判定します。 C) 上記 A) と B) の両方で授業を実施した場合の成績評価は、おおむね実施した授業形態の割合に基づいて両方の評価基準を適用して評価します。</p>						

13. オフィスアワー	初回の講義で周知する。授業中および授業の前後に質問に答える時間を確保する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	国際保健とは、増加を続ける世界の人口、開発途上国における健康問題の実態	事前学習	資料を読んで概要を把握する。
		事後学習	国際保健の問題点を整理する。
第2回	世界の健康課題 (1) 子ども : 平均余命 (寿命)、小児死亡率、死亡の原因	事前学習	資料を読んで実態を把握する。
		事後学習	子どもの健康障害の原因を考える。
第3回	世界の健康課題 (2) 女性 : 妊産婦保健、妊婦健診、妊産婦死亡率、暴力と虐待、教育 【課題レポート】開発途上国の5歳未満児の主な死亡原因を3つ挙げ、その理由を150字以内で簡潔に述べなさい。	事前学習	資料を読んで概要を把握する。
		事後学習	女性における心身の健康障害の原因を考える。
第4回	世界の健康課題 (3) 子どもの感染症 : 下痢症、肺炎、マラリア、新生児破傷風の実態と対策、栄養問題	事前学習	資料を読んで概要を把握する。
		事後学習	開発途上国における子どもの死亡原因となる感染症を整理し、理解する。
第5回	世界の健康課題 (4) 感染症 : 性感染症-1 (梅毒、トリコモナス症、ヒトパピローマウイルス (HPV) など)、予防法	事前学習	資料を読んで概要を把握する。
		事後学習	性感染症には、ワクチンによる予防が可能なもの、治療が可能なもの、治療が望めないものがある。それらを整理し、理解する。
第6回	世界の健康課題 (5) 感染症:性感染症-2 (HIV/エイズ、感染予防、治療の課題、母子感染予防など)、予防法	事前学習	資料を読んで概要を把握する。
		事後学習	HIV の感染を防ぐ方法、HIV 感染者と交流する上で人権上留意すべき事項を正しく理解する。
第7回	世界の健康課題 (6) 感染症:結核 (世界の現状、診断・治療の課題、予防対策など)	事前学習	資料を読んで概要を把握する。
		事後学習	開発途上国と自国における結核の予防対策と患者数 (概数) を比較し、結核を減少させる方策を考える。
第8回	世界の健康課題 (7) 感染症:マラリア (世界の現状、感染予防、予防・治療の課題、対策、輸入マラリアなど)	事前学習	資料を読んで概要を把握する。
		事後学習	マラリアの感染経路、ベクター感染、感染予防対策、輸入マラリアについて整理し、理解する。
第9回	健康に及ぼす要因 (1) : 貧困と不平等、教育、住環境、水と衛生設備、食物と栄養 【課題レポート】感染症を予防する上で最も有効な方法を150字以内で簡潔に説明しなさい。	事前学習	資料を読んで概要を把握する。
		事後学習	これらの問題解決にはどのような機関、組織が当たると良好な結果が得られるか。
第10回	健康に及ぼす要因 (2) : 労働環境、健康管理、アルコール、ドラッグ、タバコ	事前学習	資料を読んで概要を把握する。
		事後学習	アルコール、ドラッグやタバコなどをやめさせる方策を考えて簡潔に箇条書きにしなさい。
第11回	健康問題 (1) : がん、心疾患と脳卒中、糖尿病、精神保健 (メンタルヘルス)、暴力と虐待	事前学習	資料を読んで概要を把握する。
		事後学習	開発途上国と自国におけるこれらの非感染性疾患への対応の相違について考える。
第12回	健康問題 (2) : 傷害、呼吸器疾患、下痢症、ワクチンで予防可能な疾患、パンデミック (世界的大流行)、エビデミック (流行)	事前学習	資料を読んで概要を把握する。
		事後学習	開発途上国で下痢症による脱水を防止する簡単な方法についてまとめなさい。
第13回	難民問題、人口問題、気候変動、戦争、不健康な食事、抗菌耐性、医療従事者の不足	事前学習	資料を読んで概要を把握する。
		事後学習	これらの問題解決には個人の力が及ばないものが多い。何か良い案を考えてみる。
第14回	開発途上国の貧困問題と国際協力の必要性:国際協力の定義、国際機関	事前学習	資料を読んで開発途上国を支援する国際的な組織と日本の組織の概要を把握する。
		事後学習	・開発途上国を支援する国際的な組織と日本の組織を整理して理解する。
第15回	総括および質問への対応。 不平等を解消し、人びとが健康な生活を営むために私たちにできることは何かを考える。	事前学習	この問題について考える。
		事後学習	15回の講義を通して、知り得たもの、感じたことを整理し、人道支援について考える。